

SS2009 形式手法ワーキンググループ ポジションペーパー

2009/6/9

タオベアーズ合同会社

野中 哲

今年のソフトウェアシンポジウムでは以下のような点について議論したいと思います。

1) SPINとVDM++の比較

最近、組み込みシステムに現れる多重割り込み処理のモデルをSPINとVDM++で記述してみました。その経験を通して、それぞれのツールの特性の比較を行ってみます。実プロジェクトで、これらのツールをどのように活用すべきか参加者と議論したいと考えています。

2) ソースコード解析への取り組みへの重要性

現場の人たちと話していると、既に存在しているソースコードをどうにかしたいという要求が常に出てきます。この問題に関して、形式手法はどのような解を提供できるのか議論したいと考えています。現状どのような技術が存在しているのか、どういう方面へ進もうとしているかについて意見交換したいと思います。